

# あなたの協働の取り組み、大丈夫？



## こちら協働診療所

5診目

佐賀市では、「まちづくり自治基本条例」を施行し、市民が安心して暮らし続けられる地域社会の実現に向けて、「情報共有」・「市民参加」・「協働」を基本原則とした、市民主体のまちづくりをすすめています。中でも、協働については、さまざまなメニューで推進してきましたが、現場では協働のパートナーそれぞれに、悩みも多し様子です。

そこで、実施中または計画中の協働の取り組みについて、「協働クリニック」として、即戦力となるようなノウハウやアイデアを、みなさんとともに整理・共有します。今後のご参考になること請け合いです！「協働」は、今や不可欠な視点・手法ですので、今後の「備え」としても、要チェックの機会です。ぜひとも、ご参加ください！

診察費  
無料

■日時 1月31日(火) 18:00~20:00 ■場所 佐賀商工ビル 7F 共用大会議室  
(佐賀市白山2丁目1-12)

■定員 40名

\* 明るく楽しい雰囲気です。交流かたがた、お気軽にご参加ください。

\* 終了後は懇親会を設けますので是非どうぞ！(会費4千円程度/自己負担制)

■内容 18時 スタート

前半-協働クリニック その① 男女共同参画課 (「LGBT」って何だろう?!)

後半-協働クリニック その② 三重津世界遺産課(三重津海軍所跡の活用について)

20時 終了

| 実際に実施中・計画中の事業のあらましを、担当者よりお聴きし、グループワーク形式で、ともによりよいアイデアを考えます。

■ゲスト「協働診療所」 所長 青海 康男氏

特定非営利活動法人いしかわ市民活動ネットワークセンター(i-ねっと)理事・事務局長

秋田県秋田市出身。1968年より金沢市在住。1995年、金沢市民芸術村ドラマ工房ディレクター就任。公共施設における市民参加について全国各地で持論を展開。2001年、現場を離れた後、2002年、民間非営利団体活動の促進及び支援を目的とする「i-ねっと」事務局長就任。現在、副代表理事兼務、金沢大学非常勤講師、金沢市の協働をすすめる市民会議アドバイザー、また平成22年度まで3年の間、金沢市町会連合会コミュニティアドバイザーを経験した後、平成23年4月より高岡市協働アドバイザーとしても、NPOと行政との協働と、地域団体の意識改革をすすめるために奮闘中。

同

助手 古賀 桃子氏

特定非営利活動法人ふくおかNPOセンター 代表

1975年福岡市生。学生時代に福岡市都心部のコミュニティ再生の活動に携わり、98年福岡初のNPO支援組織・NPOふくおかの設立と同時にスタッフに。00年、九州大学大学院法学研究科修士課程修了、同年事務局長就任。02年退職、現組織を設立。[草の根から、社会を描く。]を合言葉に、NPOに関する相談や研修の他、企業や行政向けの啓発・コーディネート等、多角的なアプローチでのNPOの活動基盤整備を図る。日本NPOセンター理事等の委員職、福岡市地域活動アドバイザー、福岡女学院大学人文学部非常勤講師等を兼任。

問合せ・申込

佐賀市役所  
協働推進課  
市民活動推進係



電話 0952-40-7078  
FAX 0952-40-7385  
E-mail kyodo@city.saga.lg.jp

■申込方法 ①ご所属 ②お名前 ③連絡先 を、電話・FAX・メールで、1/20(金)までに、佐賀市役所 協働推進課(連絡先右記)にお申込みください。